



2023年5月25日
鉄道友の会

鉄道友の会 選定

2023年ブルーリボン賞・ローレル賞決定

ブルーリボン賞 (第66回)

■ 東海旅客鉄道 HC85系

ローレル賞 (第63回)

■ 京都市交通局 20系

鉄道友の会(会長 佐伯 洋、会員約 3,000 名)は、東海旅客鉄道 HC85 系をブルーリボン賞(最優秀車両)に、また、京都市交通局 20 系をローレル賞(優秀車両)に選定しました。

賞の趣旨、選定車両の解説・選定理由などは別紙をご覧ください。

東海旅客鉄道 HC85系

東海旅客鉄道 HC85 系は、高山本線「ひだ」および紀勢本線「南紀」で使われてきたキハ 85 系の置き換え用として開発された非電化線区特急用車両です。発電装置＋蓄電池のハイブリッドシステム車両として国内最高速の 120km/h を実現しています。ハイブリッド車両ながら各機器を小型化・一体化して床下に配置し、屋上は空調機器など最小限の機器のみとしています。エンジンは 1 両あたり 1 台としてキハ 85 系の半数になり、燃費の向上、環境負荷の軽減、車両内外の騒音の低減に寄与しています。また、エンジンは中間に吊枠を挟んだ二段の防振ゴムで取り付けられ、振動・騒音を大幅に抑えて客室環境を改善しています。

車体はフラットな表面を持つステンレス製で、先頭車両は貫通形のみとして編成の自由度を高めています。先頭形状は「和」をイメージした柔らかな曲線で構成されており、貫通形であることを感じさせず、流れるように配された白とオレンジのラインが躍動感を与えています。

客室はグリーン車では緑と紫のグラデーション、普通車ではオレンジのグラデーションで表現した座席を配しています。また、デッキは木目調の落ち着いた配色とし、「ナノミュージアム」と名付けられた沿線の伝統工芸品などの展示スペースを設けています。また、車いすスペースや多機能トイレなどバリアフリー、ユニバーサルデザインの充実を図っています。グリーン車、普通車ともに全席にコンセントが備わり、車内 Wi-Fi サービス、大型荷物対応荷物スペースと現代の旅を支える装備も充実しています。

台車は、溶接量を減少させて信頼度、メンテナンス性を向上した台車枠を採用しています。軸箱支持方式はタンデム式とし、上下・左右・前後のばねを最適に設定できます。非常通話装置のほか、客室やデッキには車内防犯カメラが設置され、乗務員だけでなく、指令所からも通信システムを介してリアルタイムに確認できるため、異常発生時など迅速な対応が可能となり、安全性を向上させています。この通信システムは、エンジンなど主要機器の状態を常時監視でき、不具合予兆の早期把握とともに車両メンテナンスに貢献するほか、列車内表示器を通じて、ダイヤの乱れなどタイムリーな情報を乗客に伝達できます。

会員による投票で最多の支持を獲得し、選考委員会も多くの観点からブルーリボン賞にふさわしい最も優秀な車両であると評価しました。



ブルーリボン賞 東海旅客鉄道 HC85系

写真：鉄道友の会

京都市交通局 20系

京都市交通局 20 系は、1981 年の地下鉄烏丸線開業時に導入された 10 系 1・2 次車の置き換えを目的に開発された車両です。初編成は 2022 年 3 月 26 日から運行を開始しました。バリアフリー化と多言語案内表示等のインバウンド対応を行うとともに、外観・内装デザインに京都の伝統産業素材・技法を華麗に活用しています。

設計に際しては、2017～2018 年度に、工業デザインの専門家や公募の市民を委員とする「烏丸線車両の新造にかかるデザイン懇談会」を設置し、幅広い議論に基づき、「みんなにやさしい地下鉄に」、「京都ならではの地下鉄に」、「愛着がわく地下鉄に」の 3 つの明確なコンセプトを策定しました。次に具体的な外観、内装デザインを各 3 案制作し、市民と利用者の投票により最終案を決定しています。

内装は「華やかで雅なカラー」でまとめています。両先頭車の運転室側 2 扉間に多目的スペース「おもしろエリア」を設置し、車椅子、ベビーカー、大型スーツケースに対応しています。「おもしろエリア」の立ち掛けシートの背面部は京都の伝統産業品の飾り付けスペースとし、西陣織、清水焼、京扇子等、今後登場する編成を含め編成・車両毎に異なる 18 種の「京都ならではの」を展示していきます。両先頭車内では車号と事業者標記に京象嵌を用いるとともに、中間車では通路部上部には釘隠し、吊手のさやに北山丸太と京くみひもを活用しています。車外でも交通局章に金属工芸の鋳起を用いています。これらは、伝統産業をより一層身近に感じてもらう機会を増やし、業界全体の振興に繋がりたいという伝統産業関係者と事業者の思いが一致して実現しました。

外観は「前面の造形に曲面を多用した、より近未来的なイメージ」となりました。構体はアルミニウム合金のダブルスキン構造で、90%以上をモノアロイとしてリサイクルに配慮しています。車体床面を 10 系 1・2 次車と比べ 60mm 下げる等によりホームとの段差を低減するとともに、扉には認識しやすいようにラインカラーのエメラルドグリーンを配置しています。制御はハイブリッド SiC を用いた速度センサレス VVVF 装置で、全閉式電動機を用い、将来の ATO 運転にも対応するなど、地球環境に配慮した最新水準の車両技術を用いています。

このように、公営交通事業者の通勤車の制約の中で、市民参加によるデザイン策定、多目的スペースの設置、バリアフリー、多言語案内表示等のインバウンド対応、車両内外デザインでの伝統産業品との協創など、完成度が高く最新技術と京都らしさを併せ持つ優れた車両であることを評価し、ローレル賞に選定しました。



ローレル賞 京都市交通局 20系

写真：鉄道友の会

ブルーリボン賞・ローレル賞とは

我が国の鉄道車両の進歩発展に寄与することを目的に、鉄道友の会が毎年1回、前年1月1日から12月31日までの間に日本国内で営業運転を正式に開始した新造および改造車両から選定している賞です。



ブルーリボン賞

ブルーリボン賞・ローレル賞選考委員会が選んだ候補車両に対する会員の投票結果に基づき、選考委員会が審議して最優秀と認めた車両を選定します。



ローレル賞

ブルーリボン賞・ローレル賞選考委員会が選んだ候補車両に対する会員の投票結果を参考にして、選考委員会が審議して優秀と認めた車両を選定します。

ブルーリボン賞・ローレル賞選考委員会

鉄道車両に精通するベテランの鉄道友の会会員で構成します。
なお、今年の選考委員は9名、候補車両は13系列・形式でした。

添付資料

過去のブルーリボン賞・ローレル賞選定車両一覧

本件につきましてのお問い合わせは下記宛にお願いいたします。

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-5-12 ABEビル 9階

鉄道友の会（本部事務局） 担当：鹿山

TEL & FAX 03-5215-0305

URL <https://www.jrc.gr.jp/>

■ ブルーリボン賞・ローレル賞 選定車両一覧 (その1)

年度	ブルーリボン賞	ローレル賞
1958	小田急電鉄 3000形	(制定なし)
1959	日本国有鉄道 151系	(制定なし)
1960	近畿日本鉄道 10100系	(制定なし)
1961	日本国有鉄道 キハ81系	京阪神急行電鉄 2000系・2300系
1962	名古屋鉄道 7000系	日本国有鉄道 401・421系
1963	近畿日本鉄道 20100系	京王帝都電鉄 3000系
1964	小田急電鉄 3100形	京王帝都電鉄 5000系
1965	日本国有鉄道 0系	山陽電気鉄道 3000系
1966	名古屋鉄道 キハ8000系	札幌市交通局 A830形
1967	近畿日本鉄道 18200系	長野電鉄 0系
1968	日本国有鉄道 581系	該当車なし
1969	日本国有鉄道 EF66形	東京都交通局 6000形
1970	西武鉄道 5000系	大阪市交通局 60系
1971	該当車なし	名古屋鉄道 モ600形
1972	日本国有鉄道 14系 (寝台車)	帝都高速度交通営団 6000系
1973	日本国有鉄道 183系	小田急電鉄 9000形
1974	京成電鉄 AE形	西日本鉄道 2000形
1975	該当車なし	日本国有鉄道 24系25形 (寝台車) 黒部峡谷鉄道 EH形
1976	阪急電鉄 6300系	日本国有鉄道 キハ66・67形 東京急行電鉄 8500系 富士急行 5000系
1977	名古屋鉄道 6000系	上信電鉄 1000系 札幌市交通局 6000形
1978	近畿日本鉄道 12400系	東京都交通局 新7000形 神戸市交通局 1000形
1979	近畿日本鉄道 30000系	京浜急行電鉄 800形 日本国有鉄道 オハ50系
1980	江ノ島鎌倉観光 1000形	名古屋鉄道 100系 北総開発鉄道 7000形 富山地方鉄道 14760系
1981	小田急電鉄 7000形	日本国有鉄道 117系 長崎電気軌道 2000形
1982	箱根登山鉄道 1000形	福岡市交通局 1000系
1983	京浜急行電鉄 2000形	日本国有鉄道 200系 熊本市交通局 8200形

■ ブルーリボン賞・ローレル賞 選定車両一覧 (その2)

年度	ブルーリボン賞	ローレル賞
1984	日本国有鉄道 14系700番代	京阪電気鉄道 6000系
1985	名古屋鉄道 8800系	帝都高速度交通営団 01系
		樽見鉄道 ハイモ180形
1986	伊豆急行 2100系	南海電気鉄道 10000系
		日本国有鉄道 100系
1987	北海道旅客鉄道 キハ83・84形	北大阪急行電鉄 8000系
		近畿日本鉄道 7000系
		四国旅客鉄道 キハ185系
1988	小田急電鉄 10000形	仙台市交通局 1000系
1989	近畿日本鉄道 21000系	九州旅客鉄道 783系
1990	東日本旅客鉄道 651系	西日本旅客鉄道 221系
		四国旅客鉄道 2000系
1991	東武鉄道 100系	東日本旅客鉄道 251系
		大阪市交通局 70系
1992	小田急電鉄 20000形	東日本旅客鉄道 253系
		九州旅客鉄道 キハ200系
1993	九州旅客鉄道 787系	東海旅客鉄道 300系
		日本貨物鉄道 EF200形
1994	該当車なし	日本貨物鉄道 DF200形
1995	南海電気鉄道 50000系	北海道旅客鉄道 キハ281系
1996	九州旅客鉄道 883系	日本貨物鉄道 コキ71形
		東海旅客鉄道 383系
1997	該当車なし	北海道旅客鉄道 731系
1998	西日本旅客鉄道 500系	熊本市交通局 9700形
		叡山電鉄 900形
		近畿日本鉄道 5800系
1999	西日本旅客鉄道／東海旅客鉄道 285系	スカイレールサービス 200形
2000	東日本旅客鉄道 E26系	広島電鉄 5000形
		東海旅客鉄道／西日本旅客鉄道 700系
		東日本旅客鉄道 209系950番代
2001	九州旅客鉄道 885系	名古屋鉄道 モ800形
		近畿日本鉄道 3220系・5820系・9820系
2002	東日本旅客鉄道 E257系	西日本旅客鉄道 キハ187系
2003	近畿日本鉄道 21020系	岡山電気軌道 9200形
		鹿児島市交通局 1000形
2004	四国旅客鉄道 5100形	該当車なし

■ ブルーリボン賞・ローレル賞 選定車両一覧 (その3)

年度	ブルーリボン賞	ローレル賞
2005	日本貨物鉄道 M250系	九州旅客鉄道 800系
		長崎電気軌道 3000形
2006	小田急電鉄 50000形	名古屋鉄道 2000系
		愛知高速交通 100形
		広島電鉄 5100形
		福岡市交通局 3000系
2007	富山ライトレール 0600形	東日本旅客鉄道 E233系
		西日本鉄道 3000形
2008	東海旅客鉄道／西日本旅客鉄道 N700系	東日本旅客鉄道 キハE200形
		東日本旅客鉄道 E721系／仙台空港鉄道 SAT721系
2009	小田急電鉄 60000形	豊橋鉄道 T1000形
		京阪電気鉄道 3000系
2010	東日本旅客鉄道 E259系	近畿日本鉄道 22600系
2011	京成電鉄 AE形	東京地下鉄 16000系
2012	東日本旅客鉄道 E5系	日本貨物鉄道 HD300形900番代
2013	東京地下鉄 1000系	該当車なし
2014	近畿日本鉄道 50000系	東日本旅客鉄道 E6系
		福井鉄道 F1000形
2015	東日本旅客鉄道 E7系／西日本旅客鉄道 W7系	東日本旅客鉄道 EV-E301系
		箱根登山鉄道 3000形
2016	阪神電気鉄道 5700系	東日本旅客鉄道 HB-E210系
		四日市あすなろう鉄道 新260系
2017	九州旅客鉄道 BEC819系	東日本旅客鉄道 E235系
		えちごトキめき鉄道 ET122系1000番代
		静岡鉄道 A3000形
2018	西日本旅客鉄道 35系客車	東日本旅客鉄道 E353系
		東武鉄道 500系
		鹿児島市交通局 7500形
2019	小田急電鉄 70000形	相模鉄道 20000系
		叡山電鉄 デオ730形「ひえい」
2020	西武鉄道 001系	四国旅客鉄道 2700系
2021	近畿日本鉄道 80000系	東日本旅客鉄道 E261系
		東海旅客鉄道 N700S
2022	京浜急行電鉄 1000形1890番台	東京地下鉄 17000系・18000系
		京阪電気鉄道 3850形